

第1回 瑞穂市地域公共交通会議・会議録

日 時 平成23年8月5日（金） 午後1時から午後3時
場 所 瑞穂市役所穂積庁舎 3階大会議室

出席委員

会長 倉内 文孝
富田 尚之 山田 芳喜
野田 寧宏 西村 盛夫
梅田 吾朗 棚橋 和子
古田 勝 伊藤 靖
三ツ村 秀樹 福富 保文
奥田 尚道 澤原 鹿人
新谷 哲也（森嶋 和美代理）

成瀬 幸子（岐阜県 新谷 哲也 付添）

日比野 幸彦（岐阜乗合自動車株式会社 富田 尚之 付添）

欠席委員

迫田 義一

事務局

総務部長 早瀬 俊一 総務課長 高田 敏朗
総括課長補佐 伊藤 巧 主査 井上 源英
主事 森 大剛

傍聴人

0人

1. 開会

(事務局)

只今から第1回瑞穂市地域公共交通会議を開催いたします。

2. 会長あいさつ

昨年度から引き続き、瑞穂市の公共交通会議について委員のみなさまからご意見をいただきたいと思います。今回の議事については、昨年の会議で委員のみなさまからいただいたご意見に対してのデータを基に議論を進めていきたいと思います。また、瑞穂市の公共交通が利用しやすいものとなるようにみなさまのご協力をお願いします。

3. 市長あいさつ

(市長公務のため欠席、副市長あいさつ)

今日は非常に暑い中、ご参集いただきましてありがとうございます。過去の地域公共交通会議では活発なご意見をいただいております。非常にありがたいことでもあります。また、岐阜バスからさまざまなご提案

や現在の状況の報告をいただいております。瑞穂市は人口が増加しつつある地域であります。それが鉄道による増加だろうと分析しております。鉄道と公共交通であるバスがうまくアクセスできていないという議論もありますが、みなさまの忌憚のないご意見をいただければと思っております。さまざまな課題があるわけですが、公共交通のあり方は生活支援に変わりつつあり、今後どうしていくのかでまちの将来が決まりかねないと行政側は考えております。みなさまのご意見をいただきたくお願い申し上げます、私の挨拶とさせていただきます。

3. 議事

(会長[議長])

それでは進めさせていただきます。

〈会議に関する確認事項〉

- ・ 会議録の要点筆記
- ・ 発言委員の氏名公表
- ・ 会議録の確認は会長と副会長が欠席のため、野田委員で行う。

それでは、議事に入る前に新しい委員の方も見えますので、みずほバスの概要と昨年度の地域公共交通会議で決議したことの報告を事務局からお願いします。

(事務局)

昨年決議した内容は、

1. みずほバスの乗車料金は100円で未就学児は無料
2. みずほバスの車両に広告掲載をすること

以上2点について決議しました。

資料1をご覧ください。

JR 穂積駅のバス乗り入れの状況について説明

みずほバス3路線は**JR 穂積駅南口**ロータリーで乗降

穂積・リオワールド線、大野・穂積線はみずほターミナルで乗車し、穂積駅南口ロータリーで降車

朝日大学スクールバスは**JR 穂積駅南口**ロータリーで乗降

資料2をご覧ください。

みずほターミナル新設についての説明

資料3をご覧ください。

みずほバス等運行便数の推移についての説明

穂積・リオワールド線、大野・穂積線は駅へのバス乗り入れは、当初より減少している状況にあります。

資料4をご覧ください。

JR 穂積駅南口ロータリーへのバス乗り入れ時間の状況の説明

議事に入る前に、岐阜バスの方より現状の路線バスについて説明をしていただきます。

(富田委員)

路線バスは1時間に1本の割合で運行しています。ターミナルが少し離れたところにあるために、帰りのターミナルからの利用者が少ない状況にあります。お客様の利便性を考えると穂積駅発着が望ましいと思います。

ただいま、大野・穂積線は平成24年3月31日をもって撤退の手続きをさせていただいております。

パナソニックが撤退するにあたり、北方町にバスターミナルができました。岐阜駅方面にバス路線が乗り入れできるようにしたり、バスを減便したりと合理化を進めてきていますが、年間の赤字額がおよそ2200万円程度発生しています。現在、関係市町2市2町と協議を進めております。

(事務局・部長)

大野・穂積線を撤退したいと岐阜バスさんの意向がありまして、これまでに2回ほど2市2町と岐阜バスさんを含めて会議を開催しました。また、6～7月に市議会においても説明しました。瑞穂市としましては穂積駅につながる大切な路線でありますので、赤字を補填して維持したいと考えております。みなさんのご意見をお聞きしたいと思います。

(事務局)

それでは引き続き説明をさせていただきます。

前回の会議での意見の1つとして、みずほターミナルが新設された当初から穂積駅南口の混雑状況はあまり解消されず、送迎の車が多くなっている。それに伴い自転車駐輪場の利用はかなり減っているのではないかという意見がありました。資料5のとおり自転車駐輪場の利用は横ばいもしくは少し減少しています。このため穂積駅が混雑している原因の1つと考えられますが、公共交通であるバスを穂積駅に乗り入れることを前提にして議論していきたいと思っております。

資料6は路線バスをロータリーで出発すると仮定した時に、ロータリーの写真と送迎車の数を調べたものです。

資料7は路線バスがロータリーに乗り入れる際の改修予定です。白線の引き直しと注意看板の設置予定

資料8は大野・穂積線の上りと下りの乗降客の数です。

資料9は総務課でみずほバス3路線、穂積・リオワールド線の乗降客調査をした結果です。穂積・リオワールド線はみずほターミナル出発であり、調査結果から高齢者の利用は少ない状況でした。みずほターミナルが駅から遠いことが1つの原因ではないかと思っております。

ロータリーへの路線バス乗り入れは現在平成23年10月1日を予定しています。

(事務局・部長)

穂積・リオワールド線についても岐阜バスは平成24年3月31日を

もって撤退する意向です。穂積・リオワールド線は路線バスですがコミュニティバスの役割を担っているため、廃止に伴う見直しは本来、既存のコミュニティバスの全路線の見直しを視野にいれないといけないが、一度には難しいので、当座の方針として、穂積・リオワールド線をコミュニティバスとして今までどおり運行する予定です。今後コミュニティバスの路線については検討の余地があると思いますので、ご意見お願いしたいと思います。

(会長[議長]) 論点を整理します。まずはロータリーへ路線バスを乗り入れること、その前提として路線バスの赤字分を補助して存続させること、3つ目にコミュニティバスの路線を改善していくことの3点です。今回はロータリーへ路線バスを乗り入れることについて議論をお願いします。前回の会議では、ロータリーへの乗り入れは大勢として反対意見はなかったのですが、その方向で議論してもよいと思いますが、その中で不具合があれば資料を基にして議論すべきといったことが指摘事項です。ターミナルについては、当時新路線の誕生に伴って駅前の混雑を避けるために、開設されたわけですが、現在は路線バスの便が減便していること、大野・穂積線ではターミナル利用の乗車が少ないことなどからロータリーでの乗降ができないかということかと思えます。

(梅田委員) バスが安心して通行できるように送迎車に対して駐停車禁止にできないのか。また、近隣の農協の駐車場を使用することはできないか。

(澤原委員) 現在はすでに駐車禁止になっています。駐車禁止については不可能ではないが、どれくらいの方が規制を守れるのか疑問であり、規制は厳しいと思われま。理解が得られにくいのではないのでしょうか。

(事務局・部長) ロータリーはバスだけで、送迎車が待機する場所を市役所が整備するのが理想だが、そこまでの交通量ではないと思われま。資料6を見ていただいても夕方の時間帯だけ車が多いという状況です。農協の駐車場や駅西公民館の場所を整備しても送迎車はあまり利用しないのではないかとも思われま。ロータリーの東側に30分無料の駐車場がございますので、そこを利用していただきたい。将来的にはハード面の整備が必要だと認識しています。

(梅田委員) これからも送迎車は増え続けると思われま。将来を見通した整備計画等が必要ではないのでしょうか。

(会長[議長]) 将来を見通した計画は重要ですが、一方で10月からの近々の対応に関する議論も必要と考えま。10月からスタートさせたい状況とこれ

から先にもっていきたい状況が今は一致していないかもしれないが、できる限りあとでそれが整合するという状況に持っていきたいと思います。

(野田委員) JR 穂積駅の利用者の変動についてはどうでしょうか。
夕方の送迎時間の混雑を回避するため、市役所の駐車場を利用し、市役所で待ち合わせをしている状況です。
バス路線については市内の人口集積に合わせた停留所を考えてもらいたい。一部地域では高齢者が多い所に停留所がなく利用できません。
駅前につながる道路が狭く一方通行にできないか等、自治会長会議でも交通に関する問題として話し合う予定です。

(事務局・部長) JR 穂積駅の一日の利用者数ですが、H17が8,550人、H18が8,573人、H19が8,701人、H20が8,754人、H21が8,466人となっております。利用者はあまり伸びていません。これは団塊世代の方の退職が1つの原因ではないかと思えます。

(会長[議長]) バス路線については、今後自治会とも連携して再編等を検討していくことが必要かと思えます。穂積駅南口ロータリー乗り入れについて、何か他に意見はありますか。

(山田委員) 本来、公共交通機関は乗降する場所で結節するのが最優先されるべきです。また、道路交通法上、自家用車はバスを優先しなければなりません。バスが来たら、一度ロータリーを回って再度バスの後ろにつけることは、誰でも行うのではないかなと思えます。

(会長[議長]) ロータリーへ乗り込むなどの何かを変えたときは混乱が発生しますが、いかにして事故等が起こらないようにするか工夫が必要になります。

(奥田委員) ハード面を整備した当初の計画以上に、乗降客の増加とモータリゼーション化が進展し対応が困難になってしまった面があります。そこで、梅田委員の発言内容はポイントをついていると思えます。現在の穂積駅前は面的整備ができないという状況なので、どこかで規制を行う必要があります。例えば時間帯を設けて制限を加えるなどの対処療法の部分と、将来のまちづくりという面での長期的な解決方法の2つが必要になります。公共交通会議としての方針を示していくようにしたいと思います。

(梅田委員) バスにとっての通行しにくい時間帯はあるのですか。

(事務局・部長) 夕方の時間に車が多くなります。多少通行しにくいという状況になります。

(富田委員) ロータリー乗り入れの計画では、ターミナルでバスが待機して発車時間の前にターミナルを出発し、乗客を乗せてすぐ出発するという予定です。一番混雑する時間帯はロータリーの右側に停車させる車もありバスが通行しにくいこともあります。今回ロータリーを模様替えすることで多少なり解消していくのではないかなと考えています。ただし、公共交通は天候によって大きく影響を受けるので予測しにくい面もあります。

(梅田委員) 例えば、ロータリー内の無料駐車場を撤去して、バスの発着場所にしたらどうでしょうか。

(会長[議長]) 昨年度の会議でも同様の意見がありましたが、ロータリー内をバス専用にして送迎車両をどこか別の場所へということだと思います。送迎車を完全にロータリー内に入れられないということが大変難しいことではないかと思っています。

(棚橋委員) 最近ロータリー近くに新しく民間駐車場ができましたが、行政にぜひ購入していただきロータリーの整備に利用してほしいと思っていました。また、駅西公民館もなんとか活用方法はないものでしょうか

(事務局・部長) ご指摘の土地については何度も交渉し、最大限の努力をしましたが、みなさんの大切な税金で購入しますのであまり高い金額を支払うことはできず、別の業者が購入することになりました。また、駅西公民館も場所はいいのでなんらかの活用をしなければならぬと考えています。

(梅田委員) いつからロータリー乗り入れは実施になるのでしょうか。

(事務局・部長) 10月1日にロータリー乗り入れを実施し、岐阜バスさんからも了解をいただいております。

(会長[議長]) 富田委員の意見にもありましたが、天候が寒い日等に待機車両が増えた場合、混雑が心配される面があるかと思っています。実際に実施してみて危惧されることや、難しい案件があって話し合いが必要になることがありましたら事務局の方で記録しておいてください。また、先ほど説明がありました30分無料の駐車場があまり利用されていないようですので、PRしていく必要もあるかと思っています。

(伊藤委員) 前回の会議で歩道がカーブしているため、バスがうまく寄せにくいと

いうことでしたが、車道と歩道のハード面での整備はしないのですか？

(事務局) 岐阜バスさんと立会いをした結果、歩道には縁石もあるのでバスを歩道に寄せるといことは難しいと認識しており、現状ではハード面の整備はしない予定。

(事務局・部長) 歩道等を削るなど岐阜バス立会いのもと、検討をしましたが非常に難しいとの結論に達し、ロータリー乗り入れに必要な最低限の整備をすることにしました。

(会長[議長]) 1つ確認ですが、2台のバスが待機した場合、バスの後部が道路にはみ出してしまって通行に支障が出てしまうことはないのでしょうか。

(富田委員) 2台のバスが待機場所で並ぶ状況は1日の間で何回か想定されます。ダイヤをできるだけ工夫しますが、朝日大学のバスは、大学側でダイヤを決めています。電車の到着時間を見越していると思いますが。岐阜バスもやはり、電車の到着時間は想定しますので、同じような時間に停留所に重なることはありえます。しかし、一般道路を通行する以上、ぎりぎりまでターミナルで待機し、穂積駅へ着いても、発車時間が後のバスが前になり、後ろになったバスが先に出発する必要があるような状況が生まれることはありえます。そうなったときに、待機車両がいて、道路のスペースが狭くなって交通に支障がでる可能性はあります。実際に運行してみて、問題点は検証していくことが必要だと思います。

(会長[議長]) その都度、問題を関係機関で検証していくことでよろしいでしょうか。

(伊藤委員) 確認ですが、さきほど歩道のすり寄せはしないということでしたが、実際にそのような状況で運行していくということではよろしいのでしょうか。

(事務局・部長) バスの停留所の中で乗降してもらうのが基本であり、送迎車に場所を空けてもらえれば停留所内で乗降できると思います。

(会長[議長]) 大事な点だと思います。歩道を削ったほうがいいのか、それとも逆に歩道を広げたほうがスムーズに行くかなど、必要に応じて整備の検討をしていただきたいと思います。

(新谷委員) ロータリーへの路線バスの乗り入れは、公共交通の結節という面でスムーズに乗り継ぎが可能となるので非常に良いことだと思います。ロー

ターリー内でのバスと送迎車の住み分けは継続して検討が必要だと思います。

(古田委員) ターミナルが400メートル離れたところにある今の状態よりも、ロータリーに乗り入れしたほうが良いと思います。送迎車がバスの停車に協力してスペースを空けてくれるのであれば、良いのではないのでしょうか。

(澤原委員) バスの乗り入れは良いことだと思います。ターミナル全体の整備としては、現在のタクシーの待合場所などは、歩道と車道は直線の形状なので、ここをバスの停留所にするのも方法としてはあるのではないのでしょうか。将来的には検討していただきたいと思います。

(梅田委員) ロータリー内の住み分けの啓発の仕方ですが、現場で行うことが重要だと思います。

(西村委員) ロータリーへのバスの乗り入れは上手くいくのではないのでしょうか。また、30分無料駐車場の機械は旧式のもので改善されればと思います。もうひとつ、ロータリー内の送迎車スペースに商用車が停車しているように感じられます。

(野田委員) ターミナルについては、来年の国体時の対応でもすでに懸念されており、近く岐阜バスや警察署とも検討して頂く様に要望致します。

(会長[議長]) では、今日の会議のまとめをさせていただきます。
穂積駅南口ロータリーへの路線バスの乗り入れについては10月1日実施ということでよろしいかと思います。実施に向けての懸念事項として、送迎車両のためにバスのスペースがとれるかどうかよく状況を把握すること。特に、送迎車両が増える天候が悪い日など。また、送迎車両への啓発の仕方にも広報誌だけでなく、現場で理解を求めるなど考えてもらいたいこと。同時に30分無料駐車場利用の啓発も行っていくこと。
将来的にはバスを歩道にすり寄せることや、バスと送迎車両は分離していくことを検討して欲しいと思います。
それでは、今日の議事につきましては、すべて終了しましたので事務局にお返しします。

(事務局) 本日の資料について、後日、意見や気が付いた点などがありましたら、別紙用紙に記入し、総務課まで送付していただければ幸いです。
お帰りの際には、交通事故に気をつけてお帰りください。
本日は、大変ありがとうございました。